



西早稻田中だより

新宿区立西早稻田中学校 03(3205)9674

「成長」

副校長

日頃より、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となってから、すでに5カ月近くが経ちました。今では、以前通りとは言えないまでも、旅行や飲食など大きな制限もなく日常生活を送ることができるようになり、教育活動についても保護者の方々や地域の方々をお迎えできる学校行事の実施が可能になってきました。

昨年度に引き続き10月7日（土）には道徳授業地区公開講座として、各学年の道徳授業および西早稻田中学校の校医をお迎えしての「がん教育」が行われます。道徳科の内容項目にある「生命の尊さ」に関連し、生徒たちは道徳の時間を通して「いのちの大切さ」や「尊さ」について考えていきます。また、10月28日（土）には、西早稻田祭を開催いたします。昨年度から再開したこともあり、3年生にとっては本校に入学してから2回目の合唱となり、2年生や今年初めて実施する1年生と一緒に伝統を築いていくことになります。仲間との協力の中でそれぞれのもつ力を発揮することができた昨年度の経験を活かし、取り組んでくれることと思いますので、楽しみに見守っていききたいと思います。

「自らの課題を発見し、考え、仲間と協力しながら解決し、成長していく」

これからも、生徒たちが素晴らしい取り組みや活動を行い、西早稻田中学校をより良い学校にしてくれることと思います。教職員一同、生徒が一人ひとり成長することができるよう努めてまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

3学年 戸山高校出前授

8月31日（水）、第3学年の生徒が戸山高校出前授業を受けました。2名の数学科の先生をお招きし、2進法の仕組みを活用した数当てゲームや、くじの当たりやすさの優劣を比べるカードゲームなどに取り組みました。

「高校の授業を受けることにより、上級学校についての興味関心を高める」という目的のもとに実施されましたが、どの内容も中学校までに学習する単元を応用させたもので構成されていて、生徒たちが主体的に取り組み、気づきから学びを深める様子が見られました。

探究的に学習することの面白さを感じた生徒も多くいたことと思います。高等学校では、令和4年度から「総合的な探究の時間」や「古典探究」、「地理探究」、「理数探究」といった授業が行われています。今回の出前授業で経験したことが、進学先での学習をはじめとして、その先のキャリアにおける様々な場面で活かされることを期待しています。



<生徒のお礼の手紙より>

私は数学が苦手でしたが、今日の授業でほんの少し数学が好きになりました。先生が「モヤモヤからスッキリになる感覚が大切」とおっしゃっていたので、それを受検勉強にも活かして、少しずつ得意にしていきたいです。高校生になったら、もっと難しい勉強をするのかと思って嫌になることもありましたが、今日の授業が面白かったので、不安が消えました。今日は本当にありがとうございました。（3学年 担当）

2 学年 職場体験学

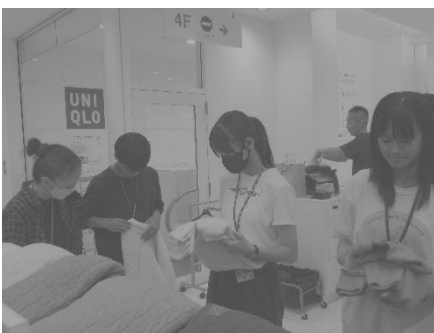
2 年生は、9 月 6 日（水）～ 8 日（金）の 3 日間、西早稲田中学校周辺の事業所 57 カ所にご協力をいただき、「職業体験学習」を行いました。地域の皆様には、多大なる感謝を申し上げます。

職業体験の目的は、「自分の進路について、深く考える契機にすること」「働くことの意義・大切さを学ぶこと」「自主性、責任感、コミュニケーション能力、協調性の育成をはかり社会のルールやマナーを学ぶこと」としています。

体験前の準備として、礼儀や電話のかけ方を学んだり、体験先の特徴を調べたりするなど、事前学習に取り組みました。また、職業体験当日は、各事業所の指示に従い、それぞれ仕事を行いました。教員が事業所を見回った際、どの事業所でも懸命な表情で活動している子どもたちの姿が印象的でした。生徒の感想に、「挨拶やさり気ない気遣いの大切さを感じた」「見えないところで多くの働く人に支えられているということが分かった」など書かれており、たくさんの貴重な経験ができたのだと、私たち教員も嬉しく思いました。事後訪問では、体験先に、お礼の挨拶と職業体験についてまとめた新聞を持参し、5 月から取り組んだ職業体験学習を無事終えることができました。

今回の経験を、ぜひ普段の生活や、自分の進路、将来の生き方を考えるきっかけにしてください。

（2 学年 職業体験担当）



1 学年 地域防災訓

9/16(土)に地域防災訓練(避難所訓練)が実施されました。地域の方々の御協力のもと、「消化器訓練・備蓄倉庫見学」「応急救護訓練」「仮設トイレ組立、分解」「起震車体験」の4つのブースに分かれて訓練・体験を行いました。訓練・体験を通して、二次災害を防ぐための行動や学校が避難所になったときの設備の使用方法などについて真剣に学ぶ生徒の姿がありました。



防災教育のキーワードとして「自助・共助・公助」という言葉があります。

文字どおり、自助は「自身の命を守ること」、共助は「命を互いに助け合うこと」、そして、公助は「公的機関等が行う救助活動」のことを指し、それぞれの必要性や重要性を示しています。防災教育における第一歩は「自分の命を守る行動」(自助)を学ぶことです。そのうえで、互いに助け合うこと(共助)の理解を深めていくことが大切です。中学生は自助から共助へと役割が広がる時期でもあるため、こういった体験を通して、有事の際に命を守るための主体的な行動選択ができるようになることを期待しています。災害発生時はどうしても公助には限界があり、実際に阪神・淡路大震災で、被災した方々のアンケート結果では「自



助(家族・親戚)と共助(近所の人)の支援で助かった人」が約70%を占めました。(兵庫県三田市ホームページより

<https://www.city.sanda.lg.jp/index.html>)。このことから、自助・共助の重要性がわかります。

今回の地域防災訓練を終えて高まった防災意識を、今後も日々の安全指導・避難訓練等の防災教育に繋げ、学校全体で課題意識をもって取り組んでいきましょう。



(1 学年 地域防災訓練担当)

夏の部活動大会結果

吹奏楽部	東京都中学校吹奏楽コンクール 銅賞
剣道部	令和5年度 東京都中学校剣道大会(都大会) 女子団体戦 ベスト32 男子団体戦 1回戦敗退 女子個人戦 3回戦敗退
バレーボール部	令和5年度 新宿区中学校バレーボール研修大会 優勝
野球部	令和5年度 新宿区民総合体育大会 第3位
水泳部	令和5年度 新宿区民総合体育大会 女子 50mバタフライ 第3位 女子 100m個人メドレー 第4位 女子 25m自由形 第6位

保健室より

「学校感染症治癒証明書(登校許可書)が新しくなりました」

昨年度から引き続き、新型コロナウイルスとインフルエンザにかかった場合は登校許可書は不要です。そのため、ホームページからダウンロードできる用紙を変更させていただきました。一度、ご確認ください。
※新型コロナウイルスおよびインフルエンザにかかった場合、登校許可書は不要ですが、電話で出席停止日数の確認をしております。保護者の方から学校にご連絡いただきますようお願いいたします。